



あくなき創造で持続可能な社会を

株主の皆さまへのご報告

第69期中間報告書

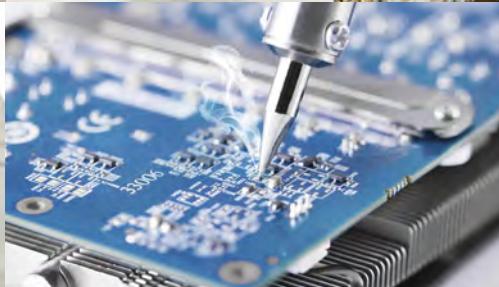
2018年4月1日～2018年9月30日



サトーグループをより詳しく
ご理解いただくために——



<http://www.sato.co.jp/>



トップメッセージ



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当中間期の連結業績は全体としてほぼ計画通りに進捗し、売上高565億円(前年同期比103.0%)、営業利益33億円(同130.8%)、経常利益32億円(同134.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益19億円(同79.6%*)となりました。

自動認識ソリューション事業は、海外事業、日本事業ともに好調を維持し、増収増益となりました。将来の事業の柱として戦略投資を行っているIDP事業は、研究開発が計画通りに進捗しております。

サトーホールディングス株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

小龍 龍太郎

▶ 自動認識ソリューション事業 (海外)

海外事業は、全体的に回復基調を維持し、増収増益となりました。海外の各地域で戦略商品のCLNXシリーズの販売を軸に、お客さまの現場運用を改善する「コト(ソリューション)売り」の提供が順調に進みました。米州は、北米における前年同期の大口商談や、南米の経済低迷の影響を受けて減収減益となりましたが、ロシアOkil社を含む欧州、アジア・オセアニアの各地域は売上を順調に伸ばし、増収増益となりました。

▶ 自動認識ソリューション事業 (日本)

市場全体として、人手不足を背景とした生産性の向上や現場の可視化、自動化ニーズが顕在化していることや、食品市場やヘルスケア市場では表示制度の変更へのニーズなどの需要が高まっています。こうした外部環境の中、営業現場でのお客さまのお困りごとに的確に対応したことが

奏功しています。

日本各地で発生した自然災害に伴い、これまでの増収基調に一時的な減速がみられたものの、プリンタを中心とするメカトロ製品の販売が全体をけん引し、売上・利益ともに計画を上回る結果となりました。今後、さらに高度化するお客さまそれぞれの現場課題に対し、ソリューション提案力を一層強化し、安定的な事業の成長を目指します。

▶ IDP事業

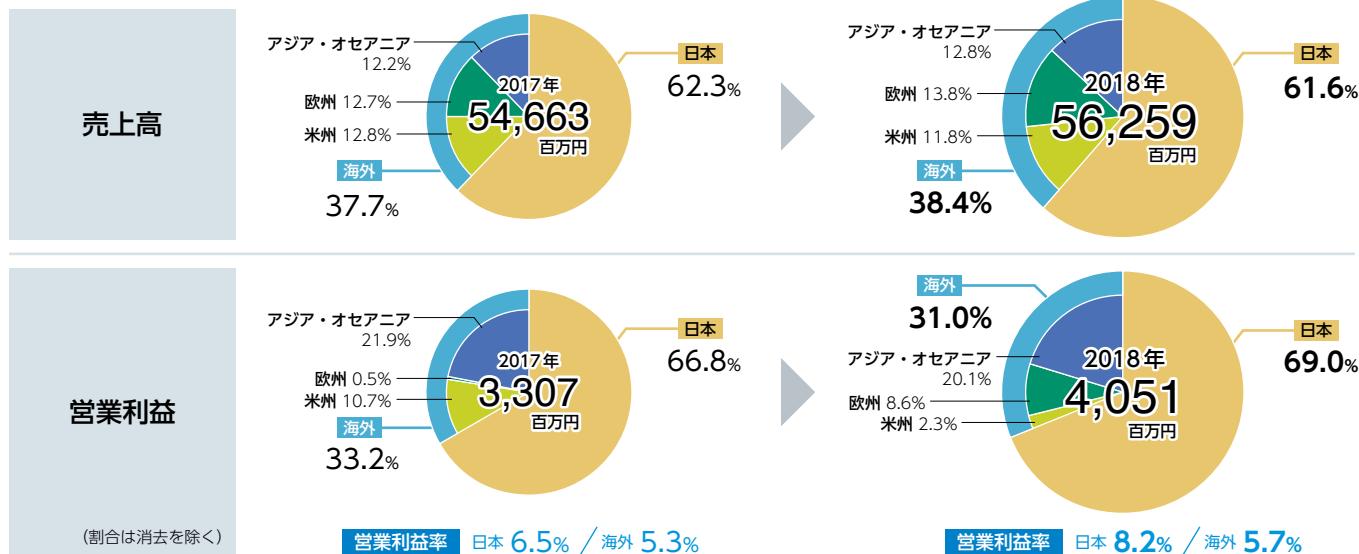
「インライン・デジタル・プリンティング(IDP)」技術を軸としたIDP事業は、先行技術に関する研究開発を計画通りに推し進めています。すでに商業化されているベースビジネスも売上が順調に伸長しています。2020年度の黒字化を目指し、既存事業とのシナジー創出に向けた具体的な取り組みを開始しています。

▶ 2018年度中間期の業績



* 前年同期において、固定資産売却に伴う特別利益 2,726 百万円を計上

▶ 自動認識ソリューション事業 地域別売上高及び営業利益構成比 (上期)

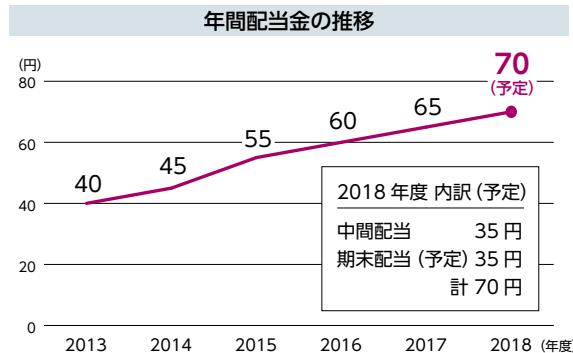


▶ 配当金

2018年度は5円増配し年間70円(当中間期35円、期末35円)の配当とする予定です。当社は企業理念の一つである「四者還元」ののっとり、安定的かつ継続的に増配することを株主還元方針の基本とし、資本生産性を高め、株主価値の向上を目指しています。

下期以降も、引き続き中期経営計画の施策を速やかに実行に移し、通期業績計画の達成に向け全社を挙げてまい進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、末永くご支援賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



第69期前半(4月～9月)の主なトピックス

5月



リリース

阪急電鉄(株)が、訪日外国人向け多言語アナウンスサービス「AmiVoice® TransGuide」を全線の主要駅に導入し、訪日外国人の乗り換えミス削減などに貢献、お客さまサービスが向上しました。

7月



リリース

サトーヘルスケア(株)が医療機関の手術用医療材料をRFIDで全品管理するシステムを構築、大阪国際がんセンターにて試験導入を開始しました。



イベント

第10回販促EXPO夏(販促業界日本最大の商談専門展)に出展しました。



イベント

国際モダンホスピタルショウ2018(国内最大級の医療関連製品サービスの展示会)に出展しました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

6月

リリース

サトーヘルスケア(株)と(株)マイクロ・テクニカが共同で世界初となる独自の医薬品偽造防止マーキングシステム「Kiispot」を開発しました。



イベント

FOOMA JAPAN 2018(国際食品工業展)に出展しました。



イベント

第31回インターフェックスジャパン(医薬・化粧品業界の日本最大の専門技術展)に出展しました。



各トピックスの詳細は当社ホームページをご覧ください。

サトーホールディングス トピックス

検索

<http://www.sato.co.jp/topics/>

ホテル
業界初!

リリース

リゾートトラスト(株)が運営するリゾートホテルで、 ワインの在庫管理に特殊なRFIDを活用し、棚卸しの大幅な効率化を実現!



リゾートトラスト(株)が運営する完全会員制のリゾートホテル「東京ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」における全てのワインの商品在庫管理向けに、RFIDのシステムを(株)サトーが受注しました。これまで東京ベイコート倶楽部では、和食・洋食・イタリアン・中国料理の各レストラン、バーやラウンジなどの館内施設で提供する約5,000本のボトルワインを棚卸しする際、ソムリエがワインを一本一本棚から慎重に取り出し、棚卸し実績を購入システムに手入力していました。RFIDの導入後は複数のボトルを非接触で同時に読み取ることができ、読み取り結果は購買システムに自動記録できるため、大幅な時短効果が出ています。国内ホテル業界における初の取り組みであり、これにより現場の在庫管理の精度が高まり、スタッフによる棚卸し作業が大幅に効率化されました。

コメント



リゾートトラスト(株) 東京ベイコート倶楽部 料飲部部長 相原 克彦 氏

内部統制の強化も目的にRFIDを導入しました。将来は棚卸し、在庫管理の透明性を担保しつつ、RFIDの特性を生かしてワインリストのタブレット化を計画しています。実現できれば業務のペーパーレス化と短時間でワイン在庫の更新が両立でき、顧客への対応スピードの迅速化や従業員の作業時間の短縮化が実現できます。導入の投資効果がより高まることを期待しています。



ボトルに巻き付けるバックル型のRFIDを開発



9月

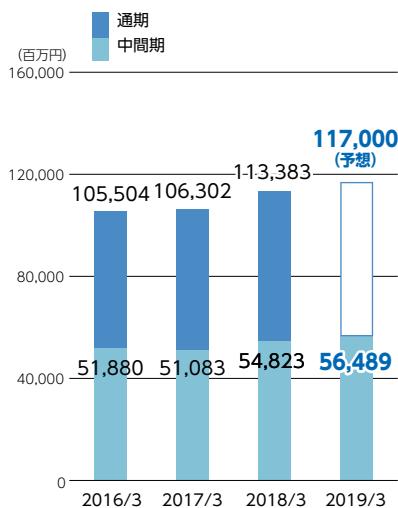
イベント

● 第20回自動認識総合展・国際物流総合展2018に出展

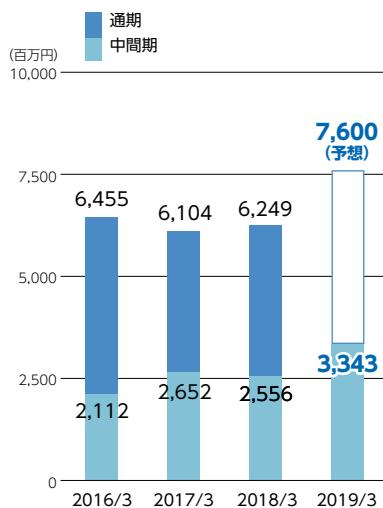
自動認識総合展では、RFIDの特性を体験できるコーナーを、国際物流総合展では、倉庫の積載効率の向上と商品の探しやすさを両立させた、世界初の仕組みを展示しました。

財務ハイライト

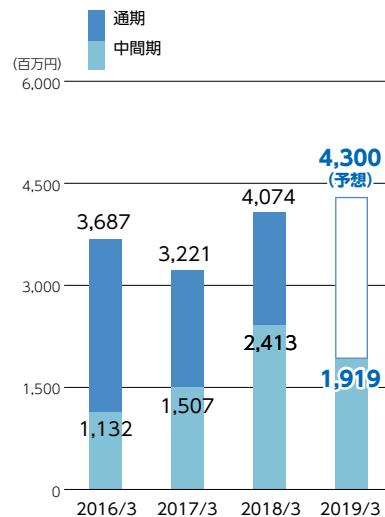
売上高



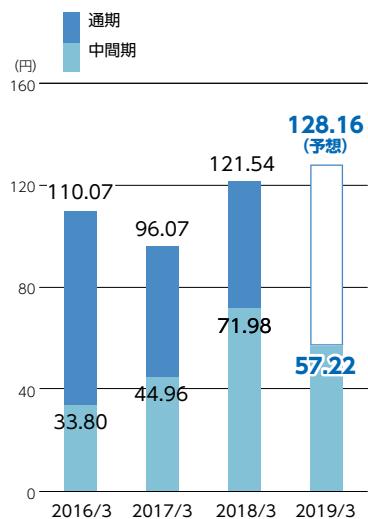
営業利益



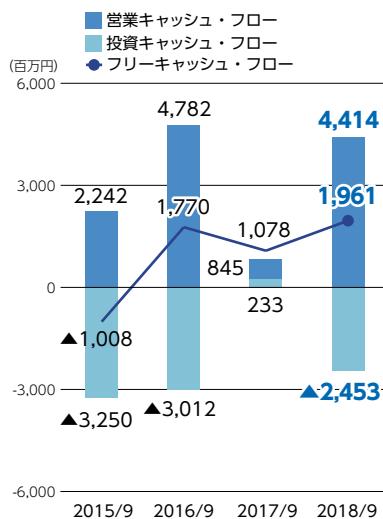
親会社株主に帰属する当期純利益



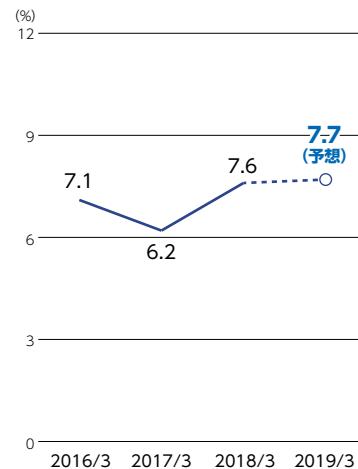
1株当たり当期純利益



中間キャッシュ・フロー



ROE (自己資本当期純利益率)



* 連結子会社における会計基準の変更があったため、過年度の決算数値を遡及修正しております。

会社情報・株式情報 (2018年9月30日現在)

会社情報

商号	サトーホールディングス株式会社 SATO HOLDINGS CORPORATION
本社所在地	〒153-0064 東京都目黒区下目黒一丁目7番1号
創業	1940年(昭和15年)
設立	1951年(昭和26年)
資本金	8,468百万円
決算期	3月31日
連結従業員数	5,235名
連結売上高	565億円(2019年3月期第2四半期) (ご参考) 1,134億円(2018年3月期)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領 株主確定日	期末配当 毎年3月31日 (中間配当を行う場合は、毎年9月30日)
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6287)

(ご注意)

- 住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。お取引されている証券会社等にお問い合わせください。
- 【特別口座】に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(株)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り次ぎ致します。
- 未受領の配当金の支払請求につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行(株)にお申し出ください。

株式情報

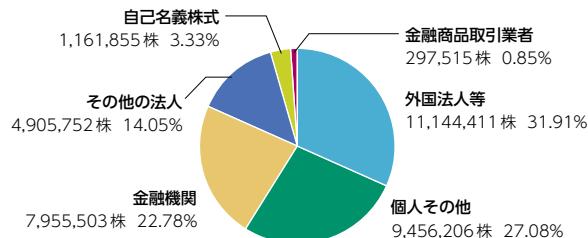
発行可能株式総数	80,000,000株	株主総数	7,534名
発行済株式の総数	34,921,242株		

大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団	37,862	11.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,468	6.06
GOVERNMENT OF NORWAY	15,692	4.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	13,315	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,623	3.73
サトー社員持株会	11,299	3.34
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	10,541	3.12
THE BANK OF NEW YORK 133524	9,633	2.85
横井 美恵子	9,001	2.66
佐藤 静江	8,974	2.65

(注) 当社は、自己株式(1,161,855株)を保有しておりますが、上記大株主から控除しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式(1,161,855株)には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式(195,833株)を含んでおりません。
大株主について、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の所有株式については、従来どおり合算(名寄せ)して表示しておりますが、その他については、株主名簿の記載どおりに表示しております。

所有株数別株式分布



その他の詳しい情報については、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.sato.co.jp/company/>

お客様の現場を止めない サトーグループのトータルソリューション

製造や物流の現場では、工場や倉庫のラインが停止すると商品の生産や出荷ができず、大きな損失につながる場合があります。サトーグループは、営業がお客様の現場に赴き課題を抽出し、円滑なビジネス環境を構築するためのソリューションを提案します。商品導入後は、専門スタッフによる保守サポートのほか、IoT技術を用いてプリンタの稼働状況を24時間遠隔で見守る「SOS(サトーオンラインサービス)」で、突然の機器停止を未然に防ぎます。サトーグループは、お客様の現場の安定稼働を支援するトータルソリューションを提供しています。



現場を止めない
課題解決型の営業

現場の困ったをその場で解決する
ヘルプデスク

専門スタッフが現場に駆け付ける
保守サポート

IoTの活用で現場を止めない
「SOS」

プリンタの稼働状況を
24時間365日遠隔で見守ります。